

OSAKA

わかねん

議会だより

町の未来を皆さんと一緒に!



第3回定例会

- 平成27年度決算審議など P 2
- これが聞きたいねん 議員の質問 P10
- シリーズ 人 水島正子さん P16

2016.12 No.133

発行/河南町議会
編集/広報特別委員会

決

平成27年度

算

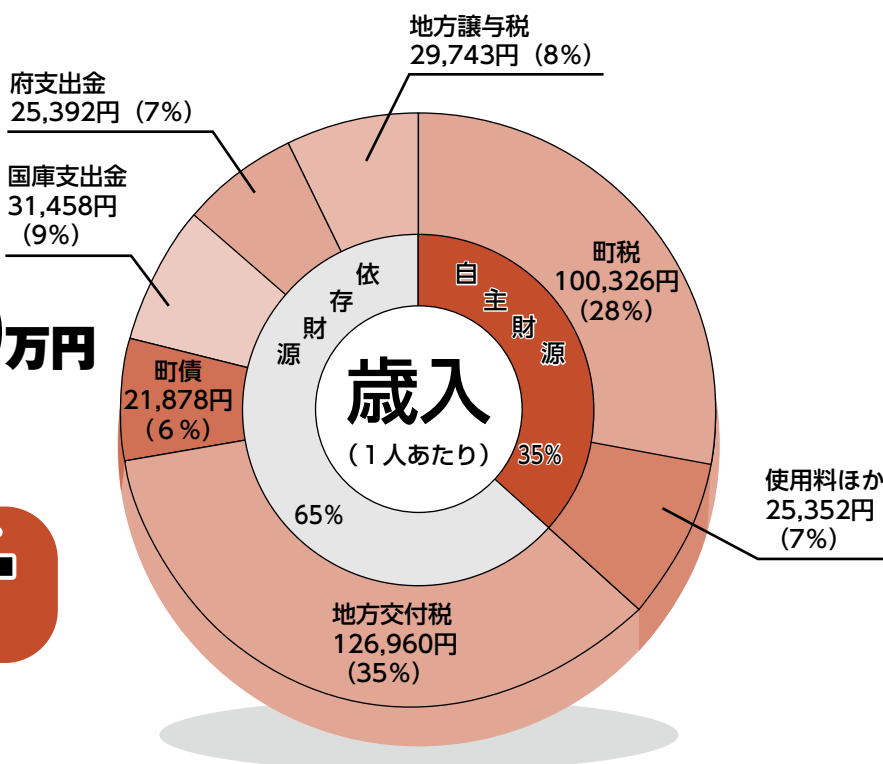
年間 35万318円

平均 10万326円

入ったお金 57億1,600万円

円グラフは、一般会計の決算項目を、町民1人あたりの金額に換算しました。一般会計では、赤ちゃんからお年寄りまで、1人あたりの歳入（収入）は、36万1,109円で、歳出（支出）は35万318円となりました。

町財政状況に基づく貯金は総額29億8,753万円、町民1人あたり約18万9千円で、借金は総額95億7,024万円、1人あたりの借金は約60万5千円となりました。



7,079万円

会計

町長の所感

平成27年度は、地方創生の実現を目指し取り組んできた。河南町総合戦略推進会議を設置、河南町ひとづくりビジョン・まちづくり戦略を策定、この戦略に基づき、「住みたいまち、住み続けたまち」を目指す。長年の懸案となっていた循環バス・山手路線の実証運行を開始。「子育て・教育は河南町で！」と言われるまちを目指し、より質の高い乳幼児教育、保育の充実を図ってきた。

保育料は、国制度の保育料軽減に上乘せし、第2子・第3子を補助、子育て世帯の支援を行う。高齢者福祉では、「いきいき百歳体操」を地域に普及。かなん健康マイレージ個人目標をポイント化し、健康意識の向上を図る。地区防犯灯は99%がLED化。交通事故の防止を図るため法定

速度遵守宣言者を募集、自発的な安全運転を促す。自然エネルギーの活用と災害時の電力確保を目指し、役場庁舎などに太陽光パネルと蓄電池を設置。町税などはコンビニ収納を開始。原付等はカナちゃんオリジナルナンバープレートを交付。財政の厳しい中、最少の経費で最大の効果が得られるよう、一層適正な予算執行に取り組む。



決算特別委員会

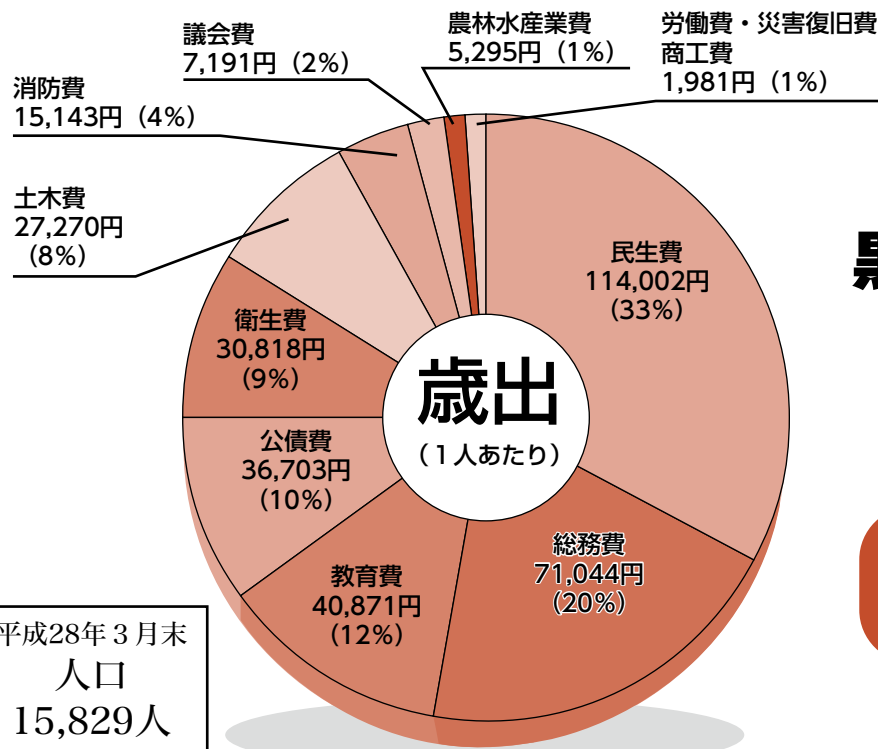
赤ちゃんからお年寄りまで

みんなのお金どう使ったの？

1人あたり

払ったお金 **町税** 1人

使ったお金 **55億4,521万円**



黒字額 **1億**

一般

平成28年第3回定例会は、8月17日から9月1日までの会期で開催しました。主な案件は、決算認定で、そのほか、条例の一部改正や補正予算などの審議を行いました。一般質問では、6人の議員が町政全般について活発な議論を行いました。

平成28年3月末
人口
15,829人

町長に問う

問 まち・ひと・しごと創生に基づく事業は、どのあたりまで進んでいるのか。

答 数字的には、まだしばらく結果は出てこないだろう。我々は60年後を見据え、今後、施策を展開する。それが評価されていけば、人口減少が抑えられ、増と転じると見込んでいる。

問 決算にあたり、「財政規律が確保されている」と監査委員が評価する理由は。

答 起債と基金のバランス以外に、職員の事業取り組みの姿勢も評価対象になっている。トップポリシーを理解し、落札減は次の事業に活かすなど工夫している。

問 教育施設のハード面での整備は進んできたと思うが、評価と課題は。

答 河南町立中学校体育館や給食センターの整備

など、ハード面は予定通り実施できた。総合教育会議が設置され、教育の目標や条件整備について町部局も意見を述べることが可能となったので、ソフト面の施策も相談の上、取り組んでいきたい。

問 なんでも鑑定団の成果はあったのか。

答 応募数は4,000人に上り、関心の高さがうかがえる。費用対効果としては、事業費も抑えることができ喜んでいる。

問 男女共同参画社会形成に対する町長の考えは。

答 河南町の職場から、まず取り組んでいくというところで、採用や人事評価は男女の区別なく平等に行っている。町全体では、自然体で女性が活躍できる状況が好ましいと考えている。

歳入・財産

保できるかどうかはわからない。

問 国勢調査の結果から

見えてきたものは。

答 速報値として、人口、世帯数は減少している。ただ、確定値は10月ごろの予定なので、分析はもう少し先のことになる。今回の調査からネット回答が可能となり、本町のネット回答率は48・7%で府下第3位となり表彰された。

問 消防団の退職者補充

はどうなっているのか。

答 大阪芸術大学で募集の呼びかけは出来ないのか。

答 2名の退職者があり、広報などで募集している。大学生の場合、学業の合間に、訓練や研修をすることに限り、本業の都合に割く時間が限られるので、各分団に配属をする場合、課題が残る。町の方では、ボランティア活動が就職活動に活かされるよう、証明書を出すなどの制度は作っているの

問 国勢調査の結果から

見えてきたものは。

答 速報値として、人口、世帯数は減少している。ただ、確定値は10月ごろの予定なので、分析はもう少し先のことになる。今回の調査からネット回答が可能となり、本町のネット回答率は48・7%で府下第3位となり表彰された。

問 消防団の退職者補充

はどうなっているのか。

答 大阪芸術大学で募集の呼びかけは出来ないのか。

答 2名の退職者があり、広報などで募集している。大学生の場合、学業の合間に、訓練や研修をすることに限り、本業の都合に割く時間が限られるので、各分団に配属をする場合、課題が残る。町の方では、ボランティア活動が就職活動に活かされるよう、証明書を出すなどの制度は作っているの

問 国勢調査の結果から

見えてきたものは。

答 速報値として、人口、世帯数は減少している。ただ、確定値は10月ごろの予定なので、分析はもう少し先のことになる。今回の調査からネット回答が可能となり、本町のネット回答率は48・7%で府下第3位となり表彰された。

問 消防団の退職者補充

はどうなっているのか。

答 大阪芸術大学で募集の呼びかけは出来ないのか。

答 2名の退職者があり、広報などで募集している。大学生の場合、学業の合間に、訓練や研修をすることに限り、本業の都合に割く時間が限られるので、各分団に配属をする場合、課題が残る。町の方では、ボランティア活動が就職活動に活かされるよう、証明書を出すなどの制度は作っているの

問 国勢調査の結果から

見えてきたものは。

答 速報値として、人口、世帯数は減少している。ただ、確定値は10月ごろの予定なので、分析はもう少し先のことになる。今回の調査からネット回答が可能となり、本町のネット回答率は48・7%で府下第3位となり表彰された。

問 消防団の退職者補充

はどうなっているのか。

答 大阪芸術大学で募集の呼びかけは出来ないのか。

答 2名の退職者があり、広報などで募集している。大学生の場合、学業の合間に、訓練や研修をすることに限り、本業の都合に割く時間が限られるので、各分団に配属をする場合、課題が残る。町の方では、ボランティア活動が就職活動に活かされるよう、証明書を出すなどの制度は作っているの

総務費

で、そのあたりのPRはしていきたい。

問 エコアクションの審査

手数料30万円の効果は。

答 4年間で9%のCO2の削減効果。また職員の環境への意識向上がある。

問 マイナンバーのシステム

関係で9千万円超のお金が使われている。その効果は。

答 今後効果が出てくる。事務改善や住民の利便性の向上につながる。

問 防犯カメラで町が4

分の3負担で実施しているが、その効果は。

答 強制わいせつ犯罪はゼロになった。

問 かなんフェスへの助

成を出しているが、効果は。

答 来場者が3千人あり、町のPRも出来た。パスポート申請事務

を富田林市に委託しているが、何件あったのか。

問 町役場で扱っては。

答 平成27年度350件。町の直営より経費面で委託のほうがよい。

問 障がい者ふれあいス

ポーツ大会の助成金について、参加者数は。

答 約1000名の障がい者の参加があった。

問 南河内広域行政共同

処理事業に500万円の負担金を出しているが、事業効果、成果は。

答 6市町村で共同事業の処理をしている。難しい事務処理もあり、町から1名出向。

問 各種予防接種の内容

は。

答 ロタウイルスは生後2ヶ月から、発熱等防止のため接種に助成。167人に接種した。B型肝炎ワクチンは2歳までの子供に接種し、親等から

の感染を防いでいる。262人に接種した。

問 中央保育園、石川保育園の見込み入園児数と

実数は。

答 予算での見込み数は、中央110人、石川126人程度。実数の園児数は中央113人、石川133人、希望園に添えない場合もあるが、ほぼ希望に沿った入園となっている。

民生費・衛生費

労働費・農林水産業費・商工費

問 消費者生活相談事業

の負担金での相談内容は。

答 27件あり、一番多いのは電話詐欺まがいに関するものや訪問販売などである。

問 中地区のほ場整備の

委託に関して、調査はどこまで進んでいるのか。

答 地元推進委員会が府と共に区域の確定など法的手続きへ準備中である。

問 新給食センターの残

菜率は。府下のどうか。また残菜の処分はどうしているのか。

答 残菜率7%で国基準に達している。もっと率を下げるべく指導中であ

る。

岩橋山を観光化するための基本計画策定委託料に関して、委託内容は。

答 登山ルートの整備について調査し、マップ化した。案内看板の設置を準備中である。

問 大宝地区の地籍調査

の進捗度と他地区の調査計画は。

答 大宝1丁目完了。2丁目は平成30年度に完了予定。その後3丁目から5丁目を実施する。石川地区など他地区は計画に入っていない。

問 教育費

土木費・消防費

る。他市区町村は二桁台の残菜率である。残菜は生ごみ処理機で液状にして下水に流している。

問 教科書採択での不正防止は。また図書館司書の採用での効果は。

答 各図書会社の営業マンには自粛を伝えていく。採択には不正はなかった。司書採用によって今後、児童の読書意欲向上を期待している。

問 こども会育成連絡協議会活動助成金について、活動の実態は。

答 加盟は3団体、150人。大宝と一須賀の3団体のみである。

問 中学校のクラブ活動助成で先生の負担は。

答 13クラブがある。先生の個人的金銭負担はないが、精神的、時間的負担がある。

国民健康保険料

問 国民健康保険料の減免制度を利用している方

はいいるのか。

答 2世帯あり、20万1千円の減免を行っている。

問 レセプト点検員はどのくらいの方を雇用しているのか。

答 医療費についての専門の資格を持った方を雇用し、点検を行っている。

問 保険を使われなかった健康世帯に対し、何か特典を作れないのか。

答 健康世帯表彰者に渡す謝礼を1万円から5千円に下げた経緯もある。特典をつけるとなると保険料に関わるので難しい。

介護保険

問 見守り訪問委託料とは。

答 配食のサービスで、平成27年度は3,426食を利用され、配食の際に安否確認を行っている。

問 家族介護慰労助成金とは。

答 要介護4から5に相当する非課税世帯の方で、保険を利用せず在宅で介護している方に対して10万円支給している。

問 24時間訪問介護制度というのはできていないのか。

答 町内の事業所が少ないため難しい。

その他の議案審議

河南町立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について

問 第1次の幼稚園統合の時に約束されていたにも関わらず、3歳児保育実現に時間がかかった理由は。

答 私立幼稚園との調整に時間がかかったのが原因の1つである。

河南町立保育園条例の一部を改正する条例の制定について

問 条例から石川保育園を丸ごと削除することで、指定管理者への町の影響力が弱まるのでは。

答 公私間で協定を締結する。

問 問題発生時、民営から公営にすることは可能か。

答 不備があれば、法に基づいて勧告する。勧告に従わなければ契約解除もありうる。

問 本議案を提案する前に、協定の内容を提示すべきでは。

答 秋には園児募集をはじめたいので、今議会での提案となった。

問 協定の内容はいつ提示するのか。

答 協定(案)はすでにできており、すぐに配布する。

問 石川保育園の廃止と少子化対策との関連は。

答 少子化の一方で保育ニーズは高まっている。

問 民営化ということは商売という面も色濃く出る。様々な問題に対する責任を最終的にとるのは誰か。

答 民営なので、一義的には連携法人に最終責任がある。ケースによっては町が責任主体となりうることもあるので、個別に検討する。

平成28年度河南町一般会計補正予算(第2号)

問 保育園の需要が高まる中、こども園のキャパシティの変化はあるのか。

答 1号認定が30人程度(幼稚園)、2号、3号認定が110人程度(保育園)受け入れられるよう考えている。

問 小学校にエアコンの設置だが、公平性の原則

で4校同時、もしくは低学年だけでも設置してあげられないのか。

答 河内小学校と近つ飛鳥小学校、同時期に発注したいと考えている。

問 認定こども園に関する協定書がまだだということだが、議会の議決は必要ではないのか。議会の関与の余地はないのか。

答 ご意見は頂戴し進めるが、協定書については議会の議決は必要ない。

問 備品購入費の50万7千円は、置き型エアコン設置の予算だと伺っているが能力的にはどうか。

答 教室60㎡で5〜6馬力必要で、2台で能力は発揮できる。

平成28年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 保険料減額の5千万円だが、本算定が8月なものにもう見通しが立っているのか。

問 4、5、6月が仮算定で7月が本算定の時期で5千万円を充当し、保険料の減額を図る。

問 どれぐらいの保険料の減額になるのか。

答 医療費一般分プラス支援金分等で本年度本算定時8万7,454円。5千万円を充当しない場合、9万9千円になるので1万2千円程度の減額となる。

問 河南町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

(答は提出議員)

問 議会議員の立候補予定説明会も既に開催された。何故、この時期に議員定数削減案を提出したのか。定数の問題はある程度、周知期間が必要と思うが、提案者はどう考えているのか。準備されている方に対し明確な説明を求める。

答 立候補予定者説明会後に議案を提出する事は、不利益ではない。住

民の立場に立つて議員定数削減案を提出した。

問 本町において理想とする人数はどのように捉えているのか。

答 10名と捉える。

問 定数問題について、議案に上げる前に議員間で調整出来なかったのか。

答 3月から同じことを何度も提案している。全協や議運でも時間を掛けて趣旨説明を述べている。

問 本議会では、公務活動費の支給停止と費用弁済の返上等、かなり積極的に身を切る改革を行っている。この評価を提案者はどう捉えるのか。

答 これまで議会改革として議員報酬や費用弁償も含め削減してきたが、更に民意を反映するため提出した。

平成28年度河南町一般会計補正予算(第3号)

(答 総務副委員長)

問 適正な学校規模として12学級から18学級が望

ましいとの事だが、平成33年には1校が11学級になる。将来1校体制を視野に入れるべきでは。

問 白木・中村小学校を中学校と統合する小中一貫案はどうかという意見はないのか。

答 意見はなかった。

問 平成33年に予測される複式学級解消の議論が委員会としてなされたのか。

答 議論はあった。

問 河内小学校を基幹校とした場合、施設要件は満たされるのか。

答 河内幼稚園園舎及び園地を使うことで、新たな面積を伴う増築は必要ない。

問 7台のスクールバスで対応出来るのか。

答 現時点では出来る。白木小学校の跡地利用について

問 地域の方々と相談するが、具体的な話までは出ていない。

のかという議論はあったのか。

答 議論はあった。丁寧な説明をし、理解を求めていく。

平成28年度河南町一般会計補正予算(第4号)

(答 総務副委員長)

問 だんじりパレードに関して、地区間の温度差をどう埋めていくのかという議論があったのか。

答 議論はあった。だんじりの無い地域の方を対象に曳き手を募集し、地域間の温度差を縮めてはとの案があった。だんじりの無い地区に10万円を限度に交付し、いいものをつくってはとの案もあった。

問 若い人たちが積極的に議論する場をつくるような議論はあったのか。

答 この実行委員会を足掛かりに、行事やまちづくりに参加してほしい。そのための一歩になるとの議論はあった。

問 南側3校統合の住民説明会が1・2回でいい

平成28年第3回定例会 (8月17日~9月1日)		審議結果	田中慶一	力武清	福田太郎	浅岡幸晴	村元保男	野村守	廣谷武	浅岡正広	佐々木希絵	小山彬夫	杉本孝	中川博
各議員の審議結果 (○=賛成 ●=反対 / =審議不参加 ==議長)														
件名														
河南町立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町立保育園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成27年度河南町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度河南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度河南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度河南町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度河南町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度河南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度河南町水道事業会計決算認定について	認定	-	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度河南町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度河南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度河南町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	-	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●	○
平成28年度河南町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	-	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○
平成27年度健康化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告	-	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
河南町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決	-	●	○	/	○	○	○	●	●	●	●	●	○

小学校統合問題について

反対 討論 賛成

平成28年度河南町一般会計補正予算（第3号）について

《反対討論》

【杉本議員】

過去の答申では、10年ほど前に中村、白木小学校を河内小学校に統合するという答申が出ている、これは単なる答申である。また、両校とも次の年度の入学生徒が非常に少なくなったということだが、少なくなる理由はもう数年ほど前からわかっていた。

住民説明会は、区長会の役員に説明したということ以外は、住民に対する発信はないということになっている。地区の住民説明会を十分にする必要があるのであるのではないか、また、住民に対して十分理解してもらってほしい思いの理由から反対する。

【浅岡幸晴議員】

小学校適正規模、適正配置は、わがまち河南町の未来に向けてのまちづくりの根幹である。このような予算は本来当初予算で計上すべきであり、我々議員の任期が切れる時期に補正予算で計上すべきではない。住民の方の多くは、児童数の減少から統合は仕方ないと思われているが、もっと早く住民の方々の対話や話し合いを優先すべきであったが、周知等が遅れているのであれば、議員選挙後に改めて、まち全体の計画も合わせて十分慎重審議を重ね議論すべきである。第1期統合から今まで地域や地区との対話もない状態で、決まってから理解を求めるのではなく、1年も2年も前から丁寧な説明や調整を図るべきである。

行政は、住民の方々の意見に耳を傾けることが一番大切であり、住民の理解とともに進む行程こそが一番大切であると感じている。町議会としては、教育環境を早急に何とかしなければならぬと認識しているが、もっと慎重に慎重を重ね進んでいかなければならない議案であるため、反対の立場での討論とする。

《賛成討論》

【中川議員】

本来、小学校の統廃合はもっと前に時間をかけ議論すべきところである。7月の小学校問題及び公共施設再編整備計画調査特別委員会に初めて具体的な案が出され、本定例会で予算が提出された。内容はクーラー設置及び校舎の長寿命化に関係するものが中心であり、残る2校、中村小学校、白木小学校に対してもいろいろ検討していただけということを感じ、賛成する。

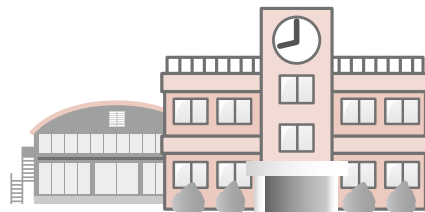
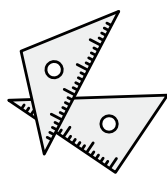
【力武議員】

子供たちにとって学校は豊かな心、確かな学力、健康・体力などを確実に身につけさせ、心豊かでたくましい人間の育成を目指す場である。しかし、近年の少子化の影響などから児童数の減少による学校の小規模化が進展し、教育環境の改善を図ることが近々の課題となっている。

本議案は、子供たちのため、このような教育環境を早期に改善するため、河内小学校を基幹校として、第2期統合を実現するための施設整備を行う予算であり、平成31年度統合に向けたスケジュールを進める上で、住民説明会と並行したものである。

この間、全協の場などで示されている跡地利用は、効果的な活用として中村小学校はこども園化の方向性が具体的に示されてきているが、白木小学校跡地に至っては残念ながら示されていない。

こうした方向性を十分に説明された上で、住民、保護者、教職員の方に十分な理解を得て進めいただくことを強く要望して賛成する。



議会の新構成決まる

平成28年第1回臨時会で、議長・副議長の選挙が行われ、新役員が決定しました。



副議長 浅岡 幸晴

このたび議員の皆様方のご推挙により、副議長に就任させて頂くことになりました。もとより非才の身ではありませんが、議会の責務を自覚し、議長のもと地域課題の正しい解決と、現実問題への取り組みを住民目線にそって全力で励んで参りたい所存でございます。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。



議長 長力武 清

このたび、議長に就任させて頂くことになりました。町制施行60年の節目の年であり、先人の方々が築かれて来られたことに感謝すると共に未来志向で町の発展、活性化に向けて議会の役割を發揮して行く所存でございます。議会運営につきまして、公平・公正・民主的運営に努め、議員各位と力を合わせ取り組んで参ります。

議員



大門 晶子



加藤 久宏



中川 博



浅岡 正広



佐々木希絵



福田 太郎



野村 守



小山 彬夫



田中 慶一



廣谷 武

監査委員

一部事務組合

議会選出監査委員	小山 彬夫
----------	-------

南河内環境事業組合	田中 慶一
-----------	-------

委員会構成

委員会	委員長	副委員長	委員			
総務常任委員会	廣谷 武	中川 博	浅岡 正広	加藤 久宏	小山 彬夫	福田 太郎
建設常任委員会	田中 慶一	佐々木希絵	大門 晶子	力武 清	浅岡 幸晴	野村 守
議会運営委員会	佐々木希絵	田中 慶一	浅岡 正広	中川 博	廣谷 武	小山 彬夫
広報特別委員会	佐々木希絵	中川 博	加藤 久宏	大門 晶子	田中 慶一	浅岡 幸晴
交通問題対策特別委員会	中川 博	田中 慶一	浅岡 正広	加藤 久宏	小山 彬夫	福田 太郎
小学校問題及び公共施設再編整備計画調査特別委員会	廣谷 武	福田 太郎	佐々木希絵 大門 晶子 野村 守	浅岡 正広 田中 慶一	中川 博 小山 彬夫	加藤 久宏 浅岡 幸晴
河南町政治倫理に関する特別委員会	福田 太郎	大門 晶子	佐々木希絵 廣谷 武 野村 守	浅岡 正広 田中 慶一	中川 博 小山 彬夫	加藤 久宏 浅岡 幸晴

議会選出委員

審議会名	議員
河南町都市計画審議会	佐々木希絵 ・ 加藤 久宏 ・ 廣谷 武 ・ 田中 慶一 ・ 福田 太郎
河南町農政総合推進協議会	浅岡 正広 ・ 中川 博 ・ 大門 晶子 ・ 小山 彬夫 ・ 野村 守

議員名簿

(平成28年10月12日現在)

議席番号	氏名	住所(河南町)	電話(0721)	会派	期数
1	佐々木 希絵	大宝5-2-15	21-6168	リベラルの会	2
2	浅岡 正広	さくら坂3-9-1	93-7575	リベラルの会	3
3	中川 博	鈴美台1-2-16	93-1206	公明党	3
4	加藤 久宏	大宝2-19-6	93-3581	新しい風	1
5	大門 晶子	中528-2	93-5965	ささゆり	3
6	力武 清	大宝4-6-15	93-6556	日本共産党	5
7	廣谷 武	寛弘寺845	93-1671	リベラルの会	4
8	田中 慶一	神山307-1	93-2304	自民正道	3
9	小山 彬夫	大宝1-32-6	93-7143	自民正道	4
10	浅岡 幸晴	白木391	93-8201	自由民主党	3
11	野村 守	一須賀738	93-4616	かなんクラブ	3
12	福田 太郎	寛弘寺224	93-2725	民主リベラル	7

平成28年第1回臨時会(10月12日)		審議結果	佐々木希絵	浅岡正広	中川博	加藤久宏	大門晶子	力武清	廣谷武	田中慶一	小山彬夫	浅岡幸晴	野村守	福田太郎
各議員の審議結果(○=賛成 ●=反対 / =審議不参加 △=除斥 --=議長)														
件名														
議会選出監査委員の選任について		否決	●	●	●	○	△	—	●	●	●	○	○	○
広報特別委員会の設置について		原案可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
交通問題対策特別委員会の設置について		原案可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
小学校問題及び公共施設再編整備計画調査特別委員会の設置について		原案可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
河南町政治倫理に関する特別委員会の設置について		原案可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○

平成28年第2回臨時会(11月11日)		審議結果	佐々木希絵	浅岡正広	中川博	加藤久宏	大門晶子	力武清	廣谷武	田中慶一	小山彬夫	浅岡幸晴	野村守	福田太郎
各議員の審議結果(○=賛成 ●=反対 / =審議不参加 △=除斥 --=議長)														
件名														
議会選出監査委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	—	○	○	△	○	○	○



力武 清 議員

問 停止線の書きかえを

答 損傷具合により順次実施

問 大宝地区で、一番事故多発地点の交差点で、ゾーン30の設定の印もされていない。スピードを抑制する視覚的、ゼブラゾーンのな線を引くなどの改善を。

答 ゾーン30的なものは表示したらいいと思う。ゼブラは騒音の問題もあり難しい。

豪雨対策について

問 ゲリラ豪雨の発生が近年よく発生するようになり、短期間に雨が降って側溝からあふれ出した溝の会所から逆流して駐車場に流れ込む状態が毎年発生している。雨水管の新設を。

答 降雨時に浸水の恐れがある箇所をパトロールし、情報を収集し、対応していきたい。

問 梅川の拡幅工事が大宝橋までは平成29年中に完成する予定だが、大宝橋から上の拡幅なり浚渫工事の計画は。

答 中之橋の架け替え工事は借地や迂回路の変更等により、6ヶ月程遅れ、平成29年10月ごろの完成予定。中之橋から大

宝橋までの河道拡幅工事は平成32年度までに完成。大宝橋からの上流部は、中期計画で堤防補強となっている。

問 梅川の大宝橋まで工事が完成すれば、完了まで必要とされている大宝2丁目新築現場の調整池の役割はなくなる。跡地利用についての考えは。

答 大阪府河川室と河道拡幅工事完了後の撤去について協議中であり、跡地利用の検討は行っていない。

問 町有地として確保している以上、有効に活用すべきで、フリースペースか、遊具施設を含めた児童公園なり、みんなが憩えるような、公園的なものを。

答 児童公園的なものも含め、今後検討していきたい。





廣谷 武 議員

問 どうなる地域公共交通

答 本格運行を目指す



実証運行で住民皆様の意見を活用したのか

問 実証運行が半年経過し、どのような意見があり、その意見をどのように活用したのか。

答 意見として、役場や買い物に行くのに大変便利になった、便数が増えて便利になった、南部の隔日運行を毎日運行にしたい、バス停の増設、回数券の発行などがあった。意見を受け、大

宝地区公民館付近のバス停を新設し、7月1日から、運行時間を1時間繰り上げし、7時始発から18時最終の運行している。

町のPRを行う計画は

問 地域公共交通を活用して、町のPRを行う計画はどのようにされたのか。

答 カナちゃんバス、やまなみタクシーを利用し、

桜の時期には桜マップを作成し町内の公共施設にポスター掲示を行うなど利用促進を行った。今後、道の駅、岩橋山などの町内観光施設の交通手段としてPRの促進を図りたい。

カナちゃんバス、やまなみタクシーの活用

問 カナちゃんバスの中に郵便ポストを設置し、河南町のポストカードを制作できないか。需要が多いところ、例えば月に2回ぐらい「墓参りコース」というようにバス停をお墓の近くに設置するといったような利用方法も考えてはどうか。

答 ポストカードは、考えてみたい。観光に使うバスとしては駅から離発着が出来ないため、対象の方は一義的には町内にお住まいの方になる。その中でも工夫し、知恵を絞ってアイデアを掘り起こしてバス会社と相談



し、法的に可能かということもあわせて考える。町には落語の達人の方もおり「落語バス」もいかなと思っている。

実証運行終了後の計画は

問 実証運行終了後の地域公共交通の計画は。
答 遅くとも年内に河南

町地域公共交通検討会議で次期公共交通のあり方をまとめていただく。実証運行後においては本格運行を目指しているが、その運行においても、期間を定め、運行の改善を検討、実行し、より良いカナちゃんバスを目指す。



浅岡正広 議員

問 学校施設の再利用や処理は

答 解体も含め検討する

問 現在、第2期小学校統合問題について議会への説明も含め、住民の理解を頂くべく説明を進められているところである。

少し遅れているようにも思えるが、今後住民の

意見も充分取り入れ、該当する子供たちを中心に進めることを願う。

そこで、今回すでに廃校となっている旧河内小学校の再利用について問

う。



旧かつらぎ自然の家

う。旧河内小学校をかつらぎ自然の家として長年利用されてきたが、利用者の減少と老朽化や耐震問題などから、平成24年4月より使用禁止となり未だそれらの建物は解体処理されず残されている。

問 現在、それらの建物及び周辺はどのように管理されているのか伺う。

答 当該建物が使用禁止となつてからは、防犯対策として機械警備を行っている。

問 管理費だけが掛っている現状が分かった。

それらは、空き家問題と同様防犯上の問題、また、残された建物は山中腹にあり、麓には民家も立ち並んでおり雨量の多い時には山側から不自

然な水の流れも地元住民と確認している。そのようなことから、年月を重ねるごとに、防災の面からも非常に危険と考えられるが、今後の対応を再度伺う。

答 それらの区域は本年7月土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されている。また、校舎も築50年も経っており今後の解体も含めて検討していきたいと考える。

次代を担う子供たちに!

問 幼い子供たちが犠牲となる事件事故が後を絶たない現状を踏まえ伺う。

まず、本町でも何度か



青色防犯パトロールカー

問題になっている不審者出没等の対策は、これまでどのように行われてきたのか。

また、子供たちが使う公園遊具について、これは過去に普通に遊んでいた子供が遊具の構造上の問題で大きな事故につながり犠牲になっている。それらの管理、点検について伺う。

答 子供たちへの防犯対策として各地域での青色防犯パトロール活動、防犯灯や防犯カメラの設置

が挙げられる。また、不審者情報などは、直ちに警察への情報提供と共にパトロール強化を要請し、安全・安心メールにより住民への注意喚起を促している。今後もそれらの対応をいち早く行っていきたいと考える。

次に、主に子供たちが利用する公園遊具については、毎週職員による目視点検を行っている。また、今年度は公園施設製品安全管理士による詳細な点検も予定している。



佐々木希絵
議員

問 児童虐待件数は

答 1年間に59件

問 河南町内の児童虐待に関する相談件数は。

答 昨年度は、身体的16件、性的1件、ネグレクト17件、心理的25件で、合計59件である。

問 相談を受けた際の対応は。

答 所属機関に最近の状況把握、相談内容の共有を図りつつ、子育てネットワーク河南等の関係機関と協議し、対応している。

問 急を要する相談の件数は。

答 昨年度は5件である。

問 その対応は。

答 本町虐待対応窓口や富田林子ども家庭センターが48時間以内に調査・情報収集を行う。子どもの身を守ることが困難な場合は、子ども家庭センターが法的処置・対応を行う。

問 虐待経験のある方を守るために家飛び出しでも行き場がないという。

問 このような子ども達の受け皿は町にあるのか。

答 町や子ども家庭センターが関与して、虐待者から子どもを分離するための一時保護施設は近隣に2箇所ある。町が把握している虐待に関する子どもは90人いる。定期的な家庭訪問をする等、虐待に関してアンテナをはっている。町ならではのネットワークをもつて、子どもの変化をいち早く察知することに努めて対応している。

問 宝塚市では市営で子どもシェルターを運営している。河南町のような小さな自治体で立派なシェルター運営は難しいが、こども110番の家を進化させたような形で、子どもが安心して逃げ込めるような仕組みを整えられるか。

答 富田林子ども家庭センターを含め、近隣の動向を見据えつつ研究する。



これが聞きたいのねん

一般質問(個人)



杉本 孝 議員

問 有害鳥獣の捕獲に協力金を

答 今のところ、考えなし

問 全国的に農村部で問題となっている有害鳥獣による人的、物的被害は大変なことだと思われる。幸い河南町においては、今のところ大きな人的被害はなかったと思

われるが、農作物等への物的な被害は相当なものではないかと思われる。農林水産省の統計によると、全国の農作物への被害は200億円以上ではないかと思われる。

一方、被害に対しての農業共済は図られているがわずかである。決算では、農林業振興策は狩猟免許の更新の助成として、主にイノシシ対策においてである。それはそれで必要なことである。ただ、身近なアライグマについても目を向けて欲しい。

問 府下の市町村によっては、捕獲に対しての奨励金や報奨金等の名目で、捕獲した人たちに礼金や品物等を提供し、捕獲協力の推進をしているところもある。

ため、個人で処分するのは困ると言われている。そのため、役場へ持ち込まなければならぬ状態である。アライグマについては、個々の被害は小さいが食い荒らされた全体の被害は大きいと思うので、捕獲することは大変重要である。

答 府下で15の市町村が実施している。河南町は今のところないが、被害は年次的に多くなり、捕獲数も多くなっている。今後も研究していく。



イノシシの檻

答 町内の被害は相当あると思われる。そのため農業共済等への連携は農協と連絡して補填していきたいと思う。

河南町においてはそのような研究をしたのか。また、研究したのであれば、その結果を教えてください。イノシシについては、捕獲後いろいろと処理方法はあると聞いているが、アライグマについては擲猛な生き物である

この事業の推進のためにも報奨金を取り入れ、より推進することを考え

て頂きたい。府下でも相当な市町村がこの制度をつくっているとと思う。その市町村数と河南町の考えは。



アライグマの檻



中川 博 議員

問 被災者支援システム導入は

答 今後、検討してまいります



問 国の平成25年改正の義務化による避難行動支援プランで、町の要支援者の対象者数また個別計画が作成されているのか

答 河南町避難行動要支援者避難行動支援プランと改定し、作成した避難行動要支援者の名簿数は、2,284人であり、個別計画の提出者は、1,083人である。

問 要援護者管理システムと被災者支援システムとの導入について現状は。の導入について現状は。

答 被災された方の情報をいち早く支援者が共有することで、無駄なく被災者をより迅速な支援が可能になるシステムと考えている。今後、マイナンバー制度との連携等も含め検討する。

問 防災行政無線戸別受信機の貸与の考えは。

答 国の周波数再編で平成34年までにデジタルシステムへの変更が必要になる。変更時により有

効なシステムの構築を検討する。

教育問題について

問 英語教育の現状と効果及びプログラミング教育の必要性と教育長の見解について。

答 英検3級レベルの達成目標に対し、平成27年度の達成者は47.6%で向上している。又、プログラミングは論理思考や問題について考え抜く力が必要で、今後プログラミング教育の円滑な実施に向け教材等を備えるよう努めたい。

問 今回の小学校統廃合において、小中一貫教育も視野に入れられたのか。

答 小中一貫教育は必要であると認識している。将来的な適正規模も視野に入れ、中長期的な展望を持って議論を深めてまいります。

消防の広域化について

問 広域化後の救急車出动回数の変化と河南分署に増車の必要性は。

答 27年の河南分署の出动数は、1,102件。内訳は、河南町内591件、富田林市419件、太子町60件、千早赤阪村32件で広域前26年の731件に対して増加しているが、購入費用、人員増が必要であるため、現行の支援体制で対応してい

地域公共交通について

問 河南町の最適な地域公共交通を研究する上で、デマンド方式の必要性は、以前から提案しているが、進捗状況は。

答 東京大学のオンデマンド交通研究チームに実証運行のデータを基に情報交換をし、今後、本町に迎え導入の可能性と効果について検討を行っていき



シリーズ



②9

—その道の達人から学ぶ—

お母さんと子ども の笑顔が大好き

みずしま まさこ
水島 正子さん (さくら坂2丁目)



今回は、さくら坂集会所で毎月第3月曜日に開設されている、コミュニティカフェの併設として、「あそびとお話の玉手箱」を催されている水島正子さんをご紹介します。水島さんは、小学校からの夢であった、保育の仕事をして30年勤められ、退職後は民生委員やヘルパー等をされ、今は心理学の勉強をされています。

「あそびとお話の玉手箱」を催すきっかけは、カフェを利用されるお母さんや子どもさん達に造形あそび等を通して気軽に参加してもらい、お母さんも一緒に楽しんでのんびりしてもらいたいとの思いから始められたとのこと。



平成25年12月に開設してから3年弱になりますが、今ではカフェの当日には会場に入るなり、玉手箱の机の所に笑顔で来てくれる子どもさんの姿にほんのりとした嬉しさが込み上がってくるそうです。

で、また、夢中になって遊ぶわが子の姿をお母さんがやさしいまなざしで声かけ見守られている様子を見て「やって良かったなあ」とひとしおの思いだそうです。

今後は、家の中にひきこもりやすいお母さんや子育てで悩んでいるお母さんに援助を行っていきたいとのこと、「どれだけ沢山のことをしたかではなく、どれだけ心を込めたか」と大切にしている言葉を胸に語っていただきました。

これからは、今までの長い人生の体験を若い世代へ伝え、貴重な1日を社会に貢献することが人生の目標だそうです。

行政視察

(11月15日)

新潟県三島郡出雲崎町議会議員10名が行政視察で河南町に来られ、子育て支援事業について研修されました。



編集後記

メンバーも一新し、6人で編集作業を行うことになりました。緑の下の力持ちのような地味な作業が中心となる委員会ではありますが、皆さまに伝わりやすい誌面作りのために、知恵を出しあって活動しておりますので、暖かく見守ってくださいますようお願いいたします。



浅岡幸晴委員

加藤委員

中川副委員長

佐々木委員長

田中委員

大門委員

平成28年度正副議長等研修会

日程 平成28年11月2日

場所 おおさか市町村職員研修研究センター

内容 『後手防犯』と『予知防犯』(今必要とされる防犯対策について考える)

講師 一般社団法人日本防犯学校学長

梅本 正行 氏

参加者 力武議長・浅岡幸晴副議長

第60回町村議会議長全国大会

日程 平成28年11月9日

場所 NHKホール

参加者 力武議長・浅岡幸晴副議長

定例会の日程

平成28年第4回定例会を、次の日程(予定)で開催します。

町政を身近に知れるよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

12月6日 開 会

12月20日 一般質問

12月21日 閉 会

※日程は変更になる場合があります。

(確認は議会事務局まで)